

令和2年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立岐阜農林高等学校

学校番号 15

I 自己評価

1 学校教育目標	校訓「不撓不屈」の精神のもと、生徒一人一人の可能性を最大限に伸ばし「豊かな心をもつ自立した人間」を育て、進路実現を図る。	
2 評価する領域・分野	◇ 特別活動	
3 現状、生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	<ul style="list-style-type: none"> ・本年度の学校行事(岐農祭、体育祭、球技大会など)は、感染症対策を優先したため当初の計画通り実施できなかったが、そうした対応も保護者の9割ほどが納得している。ただ、その対応が妥当であったかについては、やや疑問を抱いている生徒もいた。 ・部活動については、適切な管理体制のもとで適切に行われていると答える保護者は7割、生徒で8割みられるが、今後さらに各部顧問と生徒及び保護者との報連相を図る必要がある。 ・LHR活動や生徒会活動については、3~4割の生徒が物足りなさを感じ活動の意義を感じられない状況もみられる。 	
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	◇豊かな心をもつ自立した人間を育てるため、生徒会活動などの特別活動の活性化と充実を図り、感動と達成感のある教育を推進する。	
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	・特活指導部と他分掌、各学科、学年会をはじめ、全職員の共通認識のもと校内体制を整え、連携を図って諸活動に取り組む。	
6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標	
<p>(1) 生徒会行事の精選と生徒会活動の充実</p> <p>(2) 部活動の活性化と充実</p> <p>(3) 望ましい人間関係形成のためのホームルーム活動</p>	<p>(1) 生徒会執行部会での綿密な話し合いと各HRの該当委員を中心とした活動の状況及び行事实施後の点検、反省</p> <p>(2) 県大会以上の入賞数や全国大会出場などの大会結果と日常の活動状況の把握</p> <p>(3) 委員会活動やホームルーム活動の把握</p>	
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価
<p>(1) 執行委員による定例会の開催。生徒会行事の早期計画と綿密な準備、円滑な運営。</p> <p>(2) 部顧問とHR担任、及び部活動係との相互連絡。必要備品の整備。</p> <p>(3) 各HR委員の自主的なホームルーム活動の実施。各分掌との連携。</p>	<p>(1) 定例会議を開き、早期に企画ができたか。</p> <p>(2) 生徒の活動状況が把握できたか。備品の整備ができたか。</p> <p>(3) LHRの充実が図れたか。</p>	<p>Ⓐ B C D</p> <p>A Ⓑ C D</p> <p>A Ⓑ C D</p>
11 成果・課題	<p>○様々な行事が自粛及び感染症対策下での実施となり、生徒の関わりや集団での活動を基本とする特活部の諸行事の実施については大変頭を悩ませた。しかし学年球技大会や任意の団体での文化発表(文化週間)は、生徒のエネルギーと独創的なアイデア、さらには先生方の協力により実施することができた。生徒会執行部も準備や運営に最善を尽くすことができた。</p> <p>○部活動は、今年度多くの大会や発表会が中止される中、地道に活動を続けながら戦績に残らないながらも努力し続けた。今以上に学校HPを活用して部活動の戦績や活動の様子を一般の生徒や保護者に広く紹介していきたい。</p> <p>▲LHRの時間は担任の裁量によるところが大きく、クラスによりその時間の充実度が違っている。今後は生徒用タブレットなどを活用し、どの生徒にとっても有意義な時間になるよう係としての支援体制を考えたい。</p>	
<p>12 来年度に向けての改善方策案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校行事の在り方については、学校生活の充実のために根本からの見直しを進めていく。生徒にとっての最善を考え、また分掌・学科・学年との共通理解を図りながら、円滑な企画運営に努める。 ・生徒会活動や部活動をより充実させ、学校生活を有意義なものにしていくための方策を練る。 		

【意見・要望・評価等】

- ・コロナ禍で、学校行事や生徒会行事の中止もある中で、生徒と教職員が創意工夫を図りながら実施できた行事は、感動がより大きいと思う。
- ・感染症防止のため多くの行事が中止になったが、そのような中でも実施できる方法を今後も工夫されたい。
- ・特別活動は、コロナ禍と働き方改革の中で一番影響を受けたと思われる。この機会に学校行事の見直しを進め、再構築されるとよい。
- ・コロナ禍での生徒の活躍を新聞で目にして、非常に嬉しく感じた。
- ・いろいろなアイデアを出して活動することで、生徒のやる気を引き出している。
- ・生徒会活動では、生徒が主体となり、どんな状況下でも充実感が得られるような取組を期待する。先生方が、生徒の最善を考えていてありがたい。